



国見っ子

令和2年度 第7号
国見町立国見小学校だより
令和2年 6月30日
発行者 校長 本多 康弘

朝のあいさつ

先日、朝の登校時のことでした。校門を出てすぐに、通りがかりの地域の方にあいさつをしたところ、「小学生も、高学年になると『おはようございます』って言うんだね。立派だね。」というお言葉をいただきました。

歩道には、傘を差してマスク姿の子供たちばかりでしたが、『おはようございます。』

の声が1年生から6年生まで聞こえてきました。また、昇降口では担任外の先生方が7時30分頃から、代表委員会の児童もあいさつ運動を行っています。日に日にあいさつの声が大きくなってきています。

プール開き

6月26日（金）に校内放送を使って、プール開きを行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた上での水泳学習となります。例年より期間が短くなりましたが、待望の水泳授業です。

子供たちには、プール開きで次のような話をしました。

①健康な体をつくりましょう。

今年は、泳ぐ機会が少ないことになりました。しかし、水泳は全身を動かす運動ですから、健康や体力づくりの一つであることを学び、健康な体をつくってください。

②「命を守る」方法を身に付けましょう。

残念ながら、水の事故で命を亡くすケースもあります。また、水の事故は子供たちの占める割合が高いのも事実です。海や川、もしかすると水が関係する災害もあるかもしれません。命を守る方法も学んでください。

③自分の「力」を伸ばすチャレンジをしましょう。

ボール運動が得意な人、走る事が得意な人、水泳が得意な人など、それぞれに個性があります。水泳の得意な人は、その力を伸ばしましょう。また、水泳の技法や能力を伸ばすチャレンジも大切です。

大事な学びのチャンスです。「水泳のきまり」を守りながらしっかり水泳の学習に取り組みましょう。



レバーハンドルになりました！

新型コロナウイルス感染症対策として、町より子供たちの使用する水飲み場、トイレ等の水道蛇口をレバーハンドルに交換していただきました。これまでは、手で握って開け閉めする回転ハンドル式でしたが、手を洗った後にウイルスが手に付く可能性がありました。この左右に動かすレバーハンドルになったことにより、肘などを使って操作できるため、触る部分を最小限に抑えられることとなります。



校長講話より

先週、下学年と上学年に2日間にわたり、体育館で校長講話を行いました。20分ほどの講話でしたが、以下のような子供たちに注意して欲しいこと、そして「居心地のよい学校」になって欲しいことなどを話しました。

(1) 新型コロナウイルス対策を続けましょう！

マスク着用やうがい手洗いの励行、ソーシャルディスタンスを心がけていくことが大切です。

(2) 登下校、校内の安全に注意しましょう！

不審者を見抜く方法の一つが「あいさつ」です。先生方や友達、地域の方などへの「あいさつ」は、コミュニケーションの第一歩と同時に「不審者」を区別する方法の一つです。

下校時に交通安全を守れないようなこともありました。事故につながらないように注意しましょう。校内で、ケガなどの保健室利用が多いようです。安全に気を付け生活しましょう。

(3) 「思いやり」を持って、「友だちのよさ」を見つけよう！

「いじめ」とは、具体的な例として「たたく」、「なぐる」、「なかまにいれない」、「話しかけない」、「そばから離れる」等の心身の苦痛を感じるものです。みんな良いところがありますから、思いやりの心で、「友だちのよさ」を見つけていくことができれば「良い友だち」「良いクラス」「良い学校」ができるはずです。